

信濃の甲冑と刀剣

三浦一郎 著

菊判並製 二六八頁 カラー 三二頁 予定価格(本体4,500円+税) ISBN978-4-86366-927-7

信州にこんな刀・甲冑があった!

平安時代から江戸初期にかけて在地豪族の諸勢力が拮抗を続ける信濃の中で、生き残りをかけて活躍した武将たちの刀剣・甲冑を紹介。
信濃にのこる刀剣・甲冑・その他武具を、カラー口絵をはじめ写真をまじえて各年代別に詳細に解説。信州に伝わる武具類の精華と変遷をたどる、新発見満載の一冊!

目次

- 第1章 古代信濃国の兵
畠山家伝来の短刀
- 第2章 源平の争乱と信濃国
- 第3章 平安時代中期から鎌倉時代の武装形式
清水寺の鍬形／赤木家の大鎧／諏訪大社の刀剣／水無神社の太刀／佐久市の兜鉢(佐藤忠彦コレクション)
- 第4章 南北朝時代から室町時代の信濃国
- 第5章 南北朝時代から室町時代の武装形式
両羽神社の太刀／信玄・謙信一騎打ちの太刀／典厩寺の鉄炮 他
- 第6章 安土桃山時代から江戸時代初期の信濃国の戦い
- 第7章 安土桃山時代から江戸時代初期の武装形式
諏方大祝家伝来の胴丸／牛伏寺の兜／道光神社の刀／上田市立博物館の具足／駒形神社の太刀／善光寺の兜 他

信濃国略年表・甲冑武具用語索引

信濃の戦国武将たち

笹本正治 著

四六判並製 三二二頁 定価(本体2,500円+税) ISBN978-4-8016-0011-9

真田幸村そして父・昌幸と関わりがあった信濃の領主たち——小笠原、村上、諏方(諏訪)、木曾の四氏に、信玄を支えた真田幸隆・昌幸(幸村の祖父・父)を加え、信濃の武将たちがいかにして戦乱の世を切り抜けたかをたどる。

目次

- 第1章 神の血筋―諏訪頼重―
頼満の諏訪統一／信玄と競う／混乱の果てに
- 第2章 信濃守護の系譜―小笠原長時―
同族相争う／守護として／信濃落去
- 第3章 二度も信玄を破る―村上義清―
根を張る村上氏／戦勝に沸く／信濃落去
- 第4章 信玄を支える―真田幸隆―
流浪／信玄とともに／川中島合戦と幸隆／幸隆と上野
- 第5章 表裏比興の者―真田昌幸―
家督相続／武田家滅亡と家の維持／豊臣秀吉との関係／天下分け目の関ヶ原
- 第6章 武田氏を滅亡に追い込む―木曾義昌―
義昌の先祖たち／信玄に属す／武田氏滅亡／家康と秀吉の間で
- 第7章 武田氏滅亡と地域領主たち
下条信氏／小笠原信嶺／保科正直／諏訪頼忠／依田信蕃／須田満親／芋川親正／岩井信能

武田・上杉・真田氏の合戦

笹本正治 著

四六判並製 二四八頁 定価(本体1,500円+税) ISBN978-4-86366-084-7

真田昌幸は武田氏の家臣で、信玄から「我が眼」と呼ばれる程の信頼を得ていた。しかし武田氏は滅亡、昌幸は子の幸村を、武田の宿敵上杉氏に人質として差し出した。真田氏らの知略を尽した戦いを、武田・真田氏研究の第一人者がわかりやすく描く。

【著者プロフィール】

笹本正治 (ささもとしょうじ)
長野県立歴史館館長。1974年信州大学人文学部卒業、名古屋大学大学院文学研究科博士前期過程終了。名古屋大学助手、信州大学助教授、信州大学副学長を経て現職。近著に『真田氏三代―真田は日本一の兵』『武田勝頼―日本にかくれなき弓取』(いずれもミネルヴァ書房刊)など。著書多数。

注文書

発行(株)宮帯出版社 京都市上京区真倉町739-1 TEL(075)441-7747 FAX(075)441-8877

信濃の甲冑と刀剣

三浦一郎 著

ISBN978-4-86366-927-7 C3021 ¥4500円

信濃の戦国武将たち

笹本正治 著

ISBN978-4-8016-0011-9 C0021 ¥2500円

武田・上杉・真田氏の合戦

笹本正治 著

ISBN978-4-86366-084-7 C3021 ¥1500円

書店(帳合)印

好評発売中 注文(返条件) 注文数

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

書名

冊

(株)宮帯出版社

京都市上京区真倉町739-1
TEL (075) 441-7747

www.miyaobi.com
FAX (075) 431-8877

年 月 日